

農政の動き 2015年2月20日～2月26日

◇TPP閣僚会合「春のうちに開催」の見込み◇

甘利明TPP担当相は閣議後会見で、環太平洋連携協定（TPP）交渉に関する閣僚会合について「春の早い時期は厳しいかもしれないが、春のうち（5月まで）には開催ができるのではないかと述べた。交渉参加12カ国は3月9～15日にハワイで首席交渉官会合を開く。TPP交渉は、農産物を含む物品の関税交渉をはじめ、知的財産や国有企業などで交渉が難航。一方で、日米両政府は、米大統領選挙が本格化する夏前の大筋合意を目指しており、交渉が急展する可能性が指摘されている。（2015年2月20日）

◇今後の食育推進施策でとりまとめ案◇

農林水産省は、「食育推進施策に関する有識者会議」（座長・中嶋康博東大大学院教授）を開き、とりまとめ案を示した。ご飯を中心とした「日本型食生活」の普及推進を図るとともに、食育推進リーダーの育成や、食と農林水産業の理解促進に重要な教育ファームへの支援強化を明記した。地域の先進的な食育活動事例を紹介するデータベースを整備するほか、食と農林水産業に対する関心度合いに応じた食育活動の提供に向けたガイドブック作成を盛り込んだ。3月中にとりまとめる方針。（23日）

◇韓国の口蹄疫 拡大止まらず10万頭殺処分◇

韓国で口蹄疫の感染が拡大し続けている。韓国政府によると、昨年12月3日以降の発生件数は116件（豚112件、牛4件）に上り、約10万頭が殺処分された。（24日）

◇14年産大豆の収穫量 13%増の22万5600ト◇

農林水産省は、2014年産大豆の収穫量は前年産比13%増の22万5600トとなったと発表した。作付面積が2%増の13万1600ヘクタールとなり、北海道や東北などが好天で10ヘクタール当たり収量が10%増の171キログラムとなった。（24日）

◇政府備蓄米 買い入れ予定の97.5%落札◇

農林水産省は、政府備蓄米の2015年産政府買い入れ入札結果（第3回、24日実施）を公表した。提示数量1万8549トに対し、落札数量は1万2197トだった。落札数量の合計は買い入れ予定数量25万トに対し、約97.5%となる24万3648トとなった。次回は3月10日の予定。（25日）

◇輸入麦売り渡し価格 4月から3%引き上げ◇

農林水産省は、2015年4月～9月の輸入麦の政府売り渡し価格を14年10月～15年3月比で主要5銘柄平均で3.0%引き上げると発表した。小麦の国際相場は軟調に推移したものの、円安基調などが買い付け価格に影響した。直近6カ月間の平均買い付け価格から算定した5銘柄の加重平均価格は、トン当たり1740円高の6万70円となる。日本めん・菓子用（2銘柄平均）は5.4%高の5万9440円、パン・中華めん用（3銘柄平均）は1.7%高の6万390円となった。（26日）